

SBSゴルフチャンネル

‘コンテンツ管理・ログ分析・統合検索’を一緒に

ウェブサイトリニューアルにIWS導入、UCC等多様なサービス考慮中



SBSメディアネットが運営しているSBSゴルフチャンネル

SBSゴルフチャンネルはSBSメディアネットが運営している4つの専門チャンネルの一つであり世界のメジャーゴルフ大会を初め米国のPGAとLPGAの全競技、国内外の主要ゴルフ競技及び最新のゴルフ情報を視聴者にリアルに伝達している。ゴルフの中継だけでなく、視聴者が直接に参加する様々なイベント及びレッスンプログラムを製作しゴルフの大衆化に先立っている。また2000年7月ウェブサイトをオープンしてショッピングモール、オープンマーケットを運営してゴルフ用品、ゴルフツアー商品などを販売している。

手作業脱皮、管理者の直接コンテンツ管理を目指し

SBSゴルフチャンネルは2005年10月内部組織の改編と共にウェブサイトのリニューアル作業を行った。ウェブサイトを改編しながら当時、一つの整形化されたツールを取り入れて内部コンテンツを管理しようという要求が申し立てられた。既存はイシューが発生する度にプログラマーが手作業でいちいちサイトを開発、修正しなければならなかったが、このような作業なしに管理者が直接ソリューションを利用してウェブサイトのコンテンツ管理をしようとしたのである。内部的に持続的な議論を経て2006年1月に‘アイオンコミュニケーションズのIWS(I-ON Web Analytics Server) v1.0’を取り入れることに最終決定した。

IWSはCMS(コンテンツ管理システム)を活用したサイトの構築とウェブログ、検索エンジンを活用したウェブページ分析ができるようにする統合ソリューション。

「IWSを選んだ理由は各機能を全部盛っている統合性がすぐれた単一装備という点である。IWSはレファレンスも最も多くて既に他の放送社でも使われているなど検証された製品という点も高く評価された。SBSメディアネットにとって本プロジェクトで何より重要に行った作業は既存のデータのマイグレーションであり、全体プロジェクト日程の1/3を占めた。ローデータを含むデータをCMSに管理されるようにする作業に3~4週位がかかった」
SBSメディアネットマーケティング本部
朴ヒョノ次長

尚、SBSメディアネットはコンテンツ管理システムを設計しながら拡張性を大きく考慮した。今後のコンテンツが増加したり変わった時CMSで管理しやすく環境を構築したのである。



IWS(I-ON Web Analytics Server) v1.0を取り入れた
SBSゴルフチャンネルホームページ

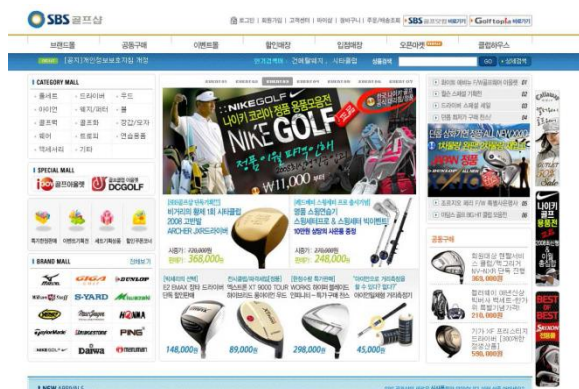
管理者、企画者、プログラマー本然の業務に集中

SBSメディアネットはコンテンツ管理システムの構築で管理者、企画者、プログラマーが‘本然の業務に集中’出来る効果を享受している。

「プログラムが知らない一般の管理者がCMSを用いコンテンツを管理できるようになることが今回のプロジェクトの最大の目標だった。IWSの導入で管理者が迅速な対応をするようになった」(朴氏)

SBSメディアネットの要求事項を満足したIWSの特徴

- ☞ **コンテンツ管理**
(使いやすい管理ツール)
- ☞ **ログ分析**
(運営中のショッピングモールに使用者の訪問数が多いページとサイトに訪問する経路の分析)
- ☞ **統合検索**



IWSを通じ消費者のパターンを分析しサイトに反映

過去のようにウェブサイトにも多数の職員が掛かり切る必要なく企画者は企画業務に、プログラマーは他のプログラミングなど本然の業務に集中できるようになり業務の効率性が大幅に向上した。
だけでなくIWSのログ分析、統合検索、ダッシュボードなどの機能で顧客にとってどんなコンテンツの利用率が高いかを一目で把握、顧客の要求に速に対応できるようになった。特に、ゴルフショッピングモールの場合商品の情報に対するログデータを分析して消費者がどんな製品を検索しているのか、どんなページを沢山見ているのかを直ちに分析してサイトに反映することでより質の高いサービスを提供するようになった。

アナリティクス・コンサルティング・サービス

ウェブアプリケーション

WCM

サーチ

ウェブログ

IECSエンジン

オープン、スタンダード・ベースド&ツールズ

クリエイト

マネージ

デリバー

アーカイブ

リポジトリ

IWSアーキテクチャー

【お問い合わせ】

[Interview] SBSメディアネットマーケティング本部・次長 朴ヒヨノ氏



“お客様のコンテンツの利用状況が一目でわかる”

・今回のプロジェクトの成果と今後の改善すべき事項は

プログラムを良く知らない管理者もコンテンツを管理しやすくなった環境を備えた点が最大の成果である。

また、顧客の要求を一目で把握して即刻サイトに反映し質の高いサービスが提供できるという点も漏らせない。今後の課題は多様な統合検索の要件を取り備えつつ、ログ分析の結果を速く反映できる体系を用意するのである。

・今度プロジェクトと連携する他の計画は

インターネットサービスが大勢なのでUCCサービスの提供を検討中である。CMSを活用し一般の放送サービスと繋げたUCC等の様々なサービスの提供を考慮している。

・IWSを取り入れようとする企業の考慮すべき点は。

サイトの 이슈とトレンドによって拡張できるかどうかを検討しなければならない。CMSは記事、情報、お知らせ等のように一方的に見せる形態のコンテンツの場合は適用しやすい。しかし掲示板、リプライなどの文章が続いて追加される双方コンテンツの場合はCMSからもらって来て持続的に再適用しなければならない。

【お問い合わせ】